

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市富岡地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ・横浜市や金沢区の平均を上回る高齢化と、一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯が増加し、長く活動を続けてきた地域団体やボランティアの高齢化もあり、地域支援の担い手不足、世代交代が進まないという現状があります。
- ・これまで同様に「富岡地域支えあい連絡会」（以下、支えあい連絡会）を通じて、地域課題と現状把握に努め、必要な支援を地域と一緒に考えました。
この「支えあい連絡会」の場・機能を活かし地域ケア会議等を開き、日ごろの相談事や個別のケースを検討し出てくる地域課題等を題材に取り組みしました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・施設を利用するすべての方が、安全かつ快適にご利用できるよう、指定管理者の基本協定書に基づき、建物や設備の保守管理に努めました。
- ・建物管理に関する業者とも連携し、保守点検や施設清掃等、計画的に行いました。
- ・日頃から職員による目視点検を行い、改善が必要な個所がないか確認しました。
- ・施設の外回りにおいても美化清掃を実施し利用しやすい施設作りに努めました。
- ・修繕等が発生した場合は速やかに区と協議し、必要な対策をしました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・備品や物品購入は、品質・価格・納期などの内容を総合的に検討し、適正に購入しました。
- ・委託業者については、法人一括で入札から決定することで、スケールメリットを生かしながらサービスの質を落とすことない支出を実施しました。
- ・法人内の会議において業務効率を図るための取り組みを共有し、無駄のない経営に取り組みました。

ウ 苦情受付体制について

- ・苦情申し入れに応じた役割や解決までの苦情処理システムフローを活用し、真摯に対応し苦情解決を実現しております。
- ・「苦情相談窓口」の案内を見やすい場所に貼付して施設利用者への周知を図りました。
- ・貸館利用団体の交流会などを活用し、気軽に苦情や要望など申し入れやすい環境を整えました。
- ・各部署に苦情担当者を配置して、苦情を受付けた際は誠意をもって対応し、苦情解決責任者が、必要な対策を講じました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・セキュリティー会社と24時間の連絡体制を確保して防犯・防災に努めました。
- ・年2回の防災訓練の実施や防災マニュアルの確認の他、併設する富岡西ハイツと共同して防災訓練を実施し、相互援助の関係を構築・確認しました。
- ・「特別避難場所の協力に関する協定」に沿って、応急備蓄物資の整備や開設マニュアルの見直しを行い、災害における開設への備えを行いました。
- ・横浜市防災情報のサイトにて、担当エリアにおける災害情報に添って必要な対策を講じました。

オ 事故防止への取組について

- ・ご利用者が安心して利用できるように、日頃から事故につながる恐れがある危険因子の早期発見に努め、予見可能な事故は未然に防ぎました。
- ・回避困難な、突発的な事故や利用者の急病などについては、安全及び人命維持を第一に考え迅速に対応しました。幸い、深刻な事態に至る事故や急病は発生しませんでした。
- ・法人内の事例や他のケアプラザにて発生した事故なども情報把握に努め、事故防止に対する対応を検討しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- 「横浜市個人情報保護に関する条例」、当法人の「個人情報保護規定」に基づき、プライバシーの尊重を遵守した個人情報保護に努めました。
- ・外部への情報発信に関しては、ダブルチェックを徹底し、情報処理の適正化に努めました。
- ・パソコンや個人情報書類などは、パスワード管理や施錠できる場所に保管するなど厳格な取り扱いを周知・徹底しました。
- ・個人情報の漏洩を防止するため、業務事例などを用いて、実践的な研修を実施しました。

キ 情報公開への取組について

- ・運営状況・事業計画・報告及び当法人のパンフレットなどを、常時閲覧できる場所に設置する他、法人のホームページにおいても最新の情報提供に努めました。
- ・介護サービス事業に関して、情報公表サービスの記載内容に変更が生じた際は速やかに対応することとしましたが、1月に行われた実地調査の機会を利用し、全面的に見直しました。
- ・写真や資料などを用いて、必要な情報公開を実施しました。

ク 人権啓発への取組について

- ・指定管理者の基本姿勢として、様々な人権問題があることに配慮すること、また人権を考える機会をより多く設けることを念頭に、職員の意識の向上に取り組みました。
- ・事務所会議など定例的な会合を利用し、職場でタイムリーなテーマを取り上げて研修を行いました。
- ・高齢者や児童の虐待など、業務で取り組む可能性の高いものについては、特に意識的に課題追求の取り組み姿勢で対応するように努めました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・冷暖房を適正温度に設定し、送風機などを活用して省エネに努めました。
- ・車両の急発進やアイドリングなど、無駄な燃料消費を防ぎました。また、定期点検や運行前点検を実施し、安全と環境に配慮した車両維持に努めました。
- ・利用者に不快な気持ちを与えないよう配慮しながら、気候に応じた服装でクールビズ、ウォームビズを実施しました。
- ・地域住民へ啓発を行いながら「3R夢プラン」に準じてゴミの発生抑制・再使用・再生利用に継続して取り組みました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名【常勤】
社会福祉士	1名【常勤】
主任ケアマネジャー	1名【常勤】
介護予防プランナー (介護支援専門員)	1名【非常勤】(5/31まで2名)

《目標》

横浜市平均よりも高齢化の高い地域である事を念頭に、ひとり暮らし、高齢夫婦世帯が増えていることから、認知症予防や閉じ籠り予防を意識してケースに関わりました。

エリアには元気づくりステーション、健康づくり教室、認知症予防スリーAサークルをはじめ、各町内会、地区社協で運営するサロン事業があるという地域の特徴を活かして、ケアプランにはインフォーマルの受け皿を取り入れながら、馴染みの近隣者との接点が途切れることのないよう、ケアプランを提案いたしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

原則、利用者負担なし。

但し、契約以外の求めがあった場合は、実費相当分を事前に提示。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

対象エリアは、昭和40年代に開発された住宅地で山坂が多く、公的な機関も小・中学校・コミュニティハウスのみであり、特に高齢者は、生活するうえで、様々な社会資源に関する情報を求められることから、地域を巡回する移動販売の調査で分かった販売ルートや商店街の聞き取り調査の結果など、暮らしに密着した地域の情報を提供いたしました。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
153	153	157	153	152	151
10月	11月	12月	1月	2月	3月
153	157	162	161	163	165

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員（ケアマネジャー）	
常勤兼務	1名 ※管理者を兼務
常勤専従	4名
非常勤専従	1名
非常勤兼務	0名
合計	6名

《目標》

- ・ 住み慣れた地域、自宅で安心した生活が継続出来るように、ご利用者及びご家族のお気持ちを活かしながら、ケアプランを作成しました。
- ・ 介護保険サービスだけに偏ることなく、地域におけるインフォーマルサービスや行政サービス等も取り入れたケアプランを作成しました。
- ・ 利用者情報の伝達や共有をする会議を毎週実施しました。ケアマネジャー間で質の高いサービスを共有し、自立につながるよう適切なサービスを調整しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則、利用者負担なし。
- 但し、契約以外の求めがあった場合は、実費相当分を事前に提示いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 主任介護支援専門員を配置し、より質の高いサービスを提供するために特定事業所加算Ⅱを算定しました。
- ・ 24時間での相談体制を確保する事で、支援困難ケースにも対応しました。
- ・ 看護師、介護福祉士、主任介護支援専門員の有資格者により、地域における多様なケースを担当しました。
- ・ 一部のサービス事業所に偏るケアプランにならないよう、透明性のあるサービスを提供しました。
- ・ 経験年数に応じた年間研修計画書を作成し、研修会へ積極的に参加し、資質の向上につなげるよう行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
138	143	143	149	156	157
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	159	164	169	171	166

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 健康状態の確認、介護サービス（移動や排泄の介助等）、送迎、入浴、食事、レクリエーション、相談援助等を提供しました。
- 担当ケアマネジャーと連携を図り適宜サービス提供を実施いたしました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	● 1割負担分	● 2割負担分
（要介護1）	614円	1,228円
（要介護2）	725円	1,450円
（要介護3）	837円	1,674円
（要介護4）	948円	1,896円
（要介護5）	1,060円	2,120円

● 食費負担 680円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:00～15:30

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員（兼介護職員）	3名（常勤兼務）
介護職員	17名（非常勤）
看護職員（兼機能訓練指導員）	9名（非常勤兼務）
調理員	5名（非常勤）
運転士	7名（非常勤）

《目標》

- ・中重度の要介護者も積極的に受け入れて、ご家族の介護負担軽減に努めました。
- ・本人の意思決定が行えるよう、様々なプログラムを提供いたしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・将棋・囲碁・麻雀など、個別のレクリエーションの提供いたしました。
- ・ご利用者の状態に合わせた食事・排泄・入浴の介助等を検討し提供いたしました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
760	786	817	808	780	766
10月	11月	12月	1月	2月	3月
778	747	728	703	690	823

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 健康状態の確認、介護サービス（移動や排泄の介助等）、送迎、入浴、食事、口腔ケア、レクリエーション、相談援助等を提供いたしました。
- 担当ケアマネジャーと連携を図り、必要なサービス提供いたしました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	● 1割負担分	● 2割負担分
（要支援1）	1,766円（1月につき）	3,531円（1月につき）
（要支援2）	3,621円（1月につき）	7,241円（1月につき）

- 食費負担 680円（1食につき）

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00~15:30

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員（兼介護職員）	3名（常勤兼務）
介護職員	17名（非常勤）
看護職員（兼機能訓練指導員）	9名（非常勤兼務）
調理員	5名（非常勤）
運転士	7名（非常勤）

《目標》

- ・自立した生活が継続できるよう、ケアマネジャーや関係機関と連携しました。
- ・要介護状態にならないよう、様々な機能訓練を取り入れました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

生活に活かせるリハビリテーション（生活リハビリ）などをプログラムに取り入れて、生活機能の維持・改善を目指しました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
118	117	129	132	130	131
10月	11月	12月	1月	2月	3月
141	125	128	124	132	156

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

【高齢者・障害分野への対応】

（わかりやすい相談対応と説明）

- ・相談者に対して介護保険制度や介護サービス等の説明を行う際、視覚的に分かりやすく、パンフレット、地域インフォーマルサービス、サービス提供拠点に自身で行けるよう、バスを中心とした公共交通機関の時間を示すなど工夫をしました。また、富岡支えあい連絡会で作成した「富岡地域支えあいマップ」等を使用し、説明・紹介を行いました。
- ・館内に元気づくりステーション、健康づくり教室の活動の様子がわかる写真を貼ったパネルを掲示し、視覚で訴え、よりわかりやすい説明・紹介に努めました。

（出前講座・出張相談会等の実施）

- ・身近な場所で介護・福祉相談につながるよう、出前講座という形で地域に出向き、介護保険や成年後見等の各制度について説明会を行うとともに、出前講座の後に相談会を開催しました。出前講座は、5月（町内会シニアクラブ）7月（町内会ボランティアグループ）2月（コミュニティハウス）実施しました。

（問題の早期発見）

- ・民生委員・児童委員や福祉関係者と適宜連絡を取り、支援の必要な高齢者の課題に早期で対応できるよう努めました。相談内容に応じて、行政との定例会議等で検討・対応し連携を図りました。
- ・当地域ケアプラザは市営住宅と一体の建物にあり、市営住宅生活援助員との連携を欠かさないう、情報共有をしました。例年開催していた定例会議は、支援相談員の交代などが重なり、民生委員・児童委員と支援相談員との情報共有の機会はなく、次年度の課題となりました。

【こども・障害分野への対応】

- ・子育てについて、主任児童員さんが把握している気になる母子をケアプラザと共有し、さりげない見守りに努めました。また、ケアプラザの事業紹介を行いました。
- ・ケアプラザ事業の情報提供メール配信のちらしを主任児童員さんに配布してもらい、ケアプラザの情報提供に協力してもらいました。
- ・障がい児については、小学校の個別支援級の先生からの相談を地域につなげ、地域の方と一緒に畑の耕し、野菜づくりを行いました。大根、ジャガイモ、サツマイモの苗を一緒に植えました。出来たさつまいもは、一緒に焼き芋大会を行いました。また、個別支援級のお手伝いをしている方を探してほしいという相談から、地域の方に声をかけ、地域の中で見守れる体制を作りました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

（課題の抽出と情報の共有）

- ・月1回、5職種定例会議を開催し、地域活動交流コーディネーターと地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーターの連携を図りました。
- ・地域の健康づくり教室、元気づくりステーション、認知症予防スリーAの会、などに地域包括職員と生活支援コーディネーターが協力して事業サポートをしました。
- ・「お元気フェスタ」の開催：地域活動交流コーディネーターと協働で、小学校体育館で体力測定を行いました。健康づくりを目的に多世代の交流につながるよう企画段

階から地区社会福祉協議会と協議し実施しました。

3 職員体制・育成

- ・ 必要な有資格者を配置することは勿論のこと、幅広い世代からのご意見やご要望などに耳を傾けながら、相手を思いやることのできる人間性豊かな職員を育成及び配置しました。
- ・ それぞれの職種において、法人本部と連携して適切な人員配置を行いました。
- ・ 同一法人で運営している地域ケアプラザと勉強会を開催し、専門職としてのスキルアップを図りました。
- ・ 意向調査は大きな規模の異動直後とあって実施しませんでした。意欲的に業務が行えるよう、フォローアップに努めました。
- ・ 他部署との会議を毎月開催し、其々の業務内容を把握し連携しました。

4 地域福祉のネットワーク構築

(シニアパワー事業の継続)

- ・ 2年間行った富岡小学校との花壇づくりはモデル事業が終了となりましたが、継続して活動していくことになりました。町内会活動にはまだ位置づけができていませんが、各町内会で参加者増員の働きかけは行ってくれました。また、個別に花壇隊の中で声をかけあってくれました。

(「支えあい連絡会」を通じたネットワーク構築)

- ・ 「支えあい連絡会」は6月に開催し、地域ボランティア活動について連絡会メンバーと情報交換をしました。連絡会では新たな情報も得ることができました。また、後半期は「地域健康づくりのこれまでとこれから」をテーマとし、次年度5月の開催に向け準備を進めました。

(民生委員・児童委員、地域活動団体との連携)

- ・ 民生委員・児童委員、地域のボランティアグループ等と情報交換をして支援の必要な人の発見と対応につなげました。
- ・ 民生委員・児童委員、保健活動推進員、各活動団体の定例会等と情報交換をし、地域ケアプラザで行う事業協力を依頼しました。
- ・ 「ケアマネジャーとの意見交換会」には主任児童委員の方もご参加いただき、地域ケアの課題を高齢者の問題に止めることなく考えることができました。

(地域防災に関するネットワーク構築)

- ・ エリア内の自治会・町内会防災訓練や防災拠点訓練等に機会をみて参加をし、自治会とのネットワーク構築強化を図れるよう努めました。

(子育てに関するネットワーク構築)

- ・ 民生委員・児童委員が実施している子育て支援事業に参加をし、情報提供や情報交換を行い、養育者との関係づくりを行いました。
- ・ 障がい児対象の放課後余暇支援は継続して行い、3月は養育者に見学をしてもらい次年度の計画も伝えました。

(学校との連携)

- ・ 小学校と地域の花壇づくりの支援を行いました。最初は1つだった花壇活動が2つに増え、小学校からの要望でゴーヤ栽培も行いました。
- ・ 近隣小学校の5年生からは歌、太鼓クラブは太鼓演奏を、コーラス部はコーラスを、デイサービスで披露してくれました。

5 区行政との協働

- ・横浜市地域福祉保健計画や金沢区運営方針の目標が達成できるよう、様々な事業に協力しました。
- ・地域支援チームの一員として、第3期地域福祉保健計画の推進に向けて積極的に連携しました。
- ・必要な情報共有を図ることで、同じ方向性を持って地域福祉に貢献しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(情報発信)

- ・ケアプラザ利用団体の参加者募集なども広報紙「あっとほーむ」に掲載しました。
- ・子育て情報メール配信の周知を主任児童委員さんに協力をいただき、例年は数組だった申し込みが、主任児童委員の皆様の協力で15名になり、大きく伸びました。
- ・今年度は養育者の声や前年度のアンケートなどをもとに事業を行いました。

(地域関係団体活動への参加、情報共有)

- ・地域の定例会、サロン、行事に参加し情報提供、情報収集を行い、地域活動報告として記録回覧して、地域包括支援センター3職種、生活支援コーディネーターと共有しました。
- ・会場利用団体の交流会は、次年度から変更になるケアプラザの利用方法を周知する目的で、説明会として開催しました。
- ・貸館団体が広く周知されるように「紹介ボード」を作成しました。サークル募集ボードと合わせてご覧になる方も多く、団体サークルへの問い合わせにつながりました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・高齢化による利用団体の減少に対応するために貸館利用団体の紹介表を館内に掲示し、来館者に活動がわかりやすく伝わるように工夫しました。
- ・若い世代を対象とした健康づくりやケアプラザの周知、ボランティア活動につながるよう、夜間に「ナイトヨガ」を開催しました。開催当時は20名ほどでスタートしましたが、年度途中で40名にまで増え、20名ずつ2クラスに分けるほど好評を得ることができました。夜間利用増の効果とともに若い世代へのケアプラザの周知にもつながりました。
- ・福祉保健活動に発展するように、団体登録時と登録後にも働きかけを行い、デイサービスで日頃の練習成果を披露していただけるよう、ゲストボランティアとして7団体の出演につながりました。また、ケアプラザ祭りや障がい事業にも協力を得られました。
- ・登録団体を対象とした利用者懇談会を、次年度から変更になるケアプラザの利用方法を周知する目的で、説明会として開催しました。

3 自主企画事業

- ・下記の事業を自主企画事業として実施しました。

せせらぎサロン	歌声広場
リンパの流れのストレッチ	お父さんといっしょにあそぼう
歩ほえみくらぶ	いちごクラブ
親子でチャレンジ	けあぷら広場
0～1歳児の講座	医療講演会
個別支援級に通う小学生余暇支援 「ひなたぼっこ」	個別支援級に通う中学生の余暇支援 「ぽっかぽか」
サマーフレンド	手作りクッキーでクリスマス会
学校と施設の連絡会	利用者懇親会
コミハ・ケアプラ祭	けあぷら広場
チャレンジフェスティバル	お元気フェスタ
女性の健康エアロビクス	リハビリ教室
わくわく体操	ボランティア感謝会
ナイトヨガ	横浜市大とのボランティア講座
苦手克服教室	3歳からの子育て講座

- ・小学生の居場所づくりとして、学校と民生委員・主任児童委員と連携をしてケアプラザの部屋を開放しました。夏休み、冬休み、春休みはカレー昼食会を行いました。計6回開催をしました。
- ・父子を対象とした事業を5回開催しました。5回目に父親に「父の会」を立ち上げたいという話をして5名から賛同をいただきました。今後この会をどのような形でケアプラザに関わっていくかを考えていきます。
- ・障がい児の事業で提供するお菓子作りを、昨年度立ち上がったボランティアグループにお菓子作りの企画、準備、当日の活動などを担当していただきました。
- ・学校、民生委員・主任児童委員と連携をして運動啓発の事業を行いました。

(生活支援コーディネーター連携)

- ・地域健康づくりの一環として、体力測定を地域に出向き実施しました。「お元気フェスタ」と名付け、小学校の体育館で実施しました。企画段階から地域交流部門と生活体制整備部門の両コーディネーターが地区社協と協働したことで、多世代交流につながりました。

(継続した関わり)

- ・子育ての世代との関係性を構築するために、0～1歳児の講座、2～3歳講座、3～6歳講座、小学生講座、父子講座を開催しました。養育者との関係性をもつように、会話に努めました。
- ・子育ての継続した関係づくりや、小学校で終了でなく中学生になっても見守っていく障がい事業を行いました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・サロンのボランティア減少に伴うボランティア確保目的もあり、ボランティア講座の企画をしましたが、個別の声かけで確保できたこともあり活動が円滑に進むようコーディネートに専念しました。
- ・ボランティア慰労会からボランティア感謝会に名称を変更し、食事会を行いました。社会福祉協議会から「ボランティアとは」をテーマとした講話の後、食事と演奏会を開きました。食事会の時間で参加者で情報交換をしていただきました。
- ・地域の施設からの依頼はありませんでしたが、地域の方々からサロンや敬老会などにゲスト出演者を紹介してほしいという10件の依頼があり協力しました。

(ボランティア募集)

- ・ 自主事業を通じてボランティアを募る他、ボランティア募集チラシを館内掲示するとともに、広報誌にも掲載しました。
- ・ サークル団体の活動を活かし、デイサービスでの活動ができるようつなげました。

(人材・担い手の育成と活動継続の支援)

- ・ ケアプラザ内のボランティアの方々に日頃の感謝を込めて、ボランティア感謝会を開催しました。
- ・ ケアプラザ事業でアンケートを取る際に、ボランティアに興味があり行ってみたいかの項目を設け、ボランティアにつなげました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

(総合相談機能の周知)

- ・ 地域包括支援センター作成の顔写真入りの案内カードを地域のイベントや会議等で配布し、総合相談機能の周知・PRに努めました。
- ・ 総合相談票から「センターを知った経緯」を集計しました。“既に知っていた”という方が多く、ケアプラザの他の部門と連携を図る中での周知が効果的であると考えられます。年末のアンケート結果で「センターの地域への周知について」まだ不足しているとの意見が多く、周知・PR方法についてはケアプラザ広報誌でセンターの役割についての記事を掲載することも含め、他部門と協力して対応したいと思います。
- ・ 地域に根差す健康教室やステーションを活用できるよう、歩いて行ける方、バスを使って行ける方などにはルートを提示して、具体的に参加ができるように相談者とともに考え利用につなげるよう努めました。

(相談対応、相談後の記録管理)

- ・ 地域包括支援センター職員間で共有できるよう、総合相談・継続記録を管理しました。
- ・ 地域包括支援センターで関わるケースが一覧できるよう、作成した検索リストを引き続き管理し、更新しました。
- ・ 山坂の多い地区であり、相談に来たくても来ることができない方には、こちらから出向くよう随時訪問し、相談対応をしました。

(情報提供の工夫)

- ・ 相談者への情報提供は、介護保険サービスだけでなく、地域のボランティア活動や包括も関わる体操教室等の地域のインフォーマルサービスについても併せて紹介するよう努めました。
- ・ 相談室に元気づくりステーションや健康づくり教室の活動の様子の写真を貼ったパネルを掲示し、わかりやすい情報提供に努めました。

(出前講座・出張相談会等の実施)

- ・ 5月：地域のシルバークラブ勉強会で「日常生活総合事業」について説明会を行いました。
- ・ 7月：町内会ボランティアグループの勉強会で「日常生活総合事業」について説明をしました。
- ・ 1月：コミュニティハウスで「介護保険と成年後見制度」説明会と相談会を行いました。

(地域と連携した相談対応)

- ・ 相談対応を通して把握した困りごとやニーズを、民生委員・児童委員や地域のボランティアに伝え、地域とともに困りごとや生活のしづらさを解決できるよう連携しました。

(職員の研修参加、利用者アンケート)

- ・ 適宜、研修に参加し、情報を共有するよう研修資料を職員間で回覧し、日々の相談業務に活かしました。
地域のインフォーマルサービスについて、相談室への展示やバスルートを提示して参加者が利用しやすいように努めるなど、相談者のニーズに応じたきめの細かい情報提供に努めました。

(総合相談機能の周知)

- ・ 地域包括支援センター作成の顔写真入りの案内カードを地域の催し等で配布し、総合相談機能の周知・PRに努めました。
- ・ 相談票から「センターを知った経緯」を集計し、その結果をまとめて資料とし、その結果をまとめ、効果的にPRする基礎資料にしました。

(相談対応、相談後の記録管理)

- ・ 地域包括支援センター職員間で共有できるよう、総合相談・継続記録を管理しました。
- ・ 地域包括支援センターで関わるケースを見通せるよう、昨年作成した検索リストを引き続き管理し、更新しました。
- ・ 山坂の多い地区であり、相談に来たくても来ることができない方には、随時訪問し相談対応をしました。

(情報提供の工夫)

- ・ 相談者への情報提供は、介護保険サービスだけでなく地域のボランティア活動等のインフォーマルなサービスについて紹介しました。
- ・ 相談室に元気づくりステーション、健康づくり教室の活動の様子の写真を貼ったパネルを掲示し、視覚的に訴えわかりやすい情報提供に努めました。

(出前講座・出張相談会等の実施)

- ・ ケアプラザからの遠い地区で相談に来られない方のために、介護保険や成年後見制度の「出前講座」を開き、講座終了後個別に相談会を開きました。課題の早期把握・対応につなげました。

(地域と連携した相談対応)

- ・ 相談対応を通して把握した困りごとやニーズを、民生委員・児童委員や地域のボランティアに伝え、地域とともに困りごとや生活のしづらさの解消に努めました。

(職員の研修参加、利用者アンケート)

- ・ 適宜、研修に参加します。情報が共有するよう研修資料を職員間で回覧し、日々の相談業務に活かします。
- ・ 相談業務の質の向上を図る目的で「利用者アンケート」を実施しました。結果の集計と、頂いたご意見から相談業務を振り返りました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・ 地域の福祉保健関係団体、医療関係機関、介護サービス事業所等の専門機関だけでなく、自治会・町内会、地元商店会も含めた幅広いネットワーク構築を目指せるよう努めました。
- ・ 移動販売者の巡回ルートを地域支援チームで共有できるよう情報提供しました。

(既存の連絡会の機能を活かした包括圏域ケア会議の開催)

- ・ 地域ケア会議(包括レベル)は「金沢区北部在宅医療連絡会」の機能を活かした専門職間のネットワーク構築を目的に6月に開催しました。
- 【課題】専門職の連携から地域との連携にどうつなげることができるか課題が残ります。

(対象エリアを超えたネットワーク・医療と介護の連携構築)

- ・ 区内包括北部エリアの4か所の地域包括支援センター協働で「在宅医療連絡会」を年2回(6月と1月)昨年に引き続き開催しました。在宅での暮らしを医療介護の視点から課題抽出をしました。次につなぐ方向を常に意識し準備し進めました。

(地域住民等との連携構築)

- ・地域の老人会、ボランティアグループの勉強会で「総合事業」について説明会を開催しました。連携構築の基礎となるよう地域の高齢化の状況、課題などもお伝えしました。
- ・民生委員・児童委員とケアマネジャーとの意見交換・交流会を富岡第三地区は8月に、富岡第一地区は3月に開催しました。

実態把握

(相談内容から集計・分析)

- ・日頃の相談から地域の実態を知るため、総合相談票を集計し「相談や介護が必要となった理由」を知ること、仕事の方向性を見据えるよう努めました。
- ・日ごろの相談から実態把握をし、事業展開や業務に反映するよう努めました。

(地域のデータから知る)

- ・地域の高齢化率などのデータや社会資源を地図に落とすことで、地域の実態を「見える化」し更新しました。「見える化」したデータは随時更新しグラフや表にしてケアプラザ廊下等に掲示をし、5職種で共有しました。

(地域との情報共有)

- ・民生委員・児童委員、配食等の町内会のボランティア等から情報を受け、また、ケアプラザから情報を伝え、互いに情報を共有して、支援を必要とする方、必要となりそうな方の把握に努めました。
- ・エリア内の市営住宅生活援助員と民生委員・児童委員と随時連絡をとり、要援護者の情報を共有し、実態把握に努めました。

(地域サロンへの参加)

- ・顔は知っていてもなかなか挨拶もできないでいた住民どうしがつながることのできる場に共にいることで、生きた情報共有と実態の把握ができると感じています。
- ・地域にある複数のサロンに地域活動交流・生活支援コーディネーターと包括支援センターで顔を出し、サロンに来ることができなくなる人＝支援が必要になりそうな人等の早期発見・把握に努めました。

(ひとり暮らし高齢者見守り推進事業)

- ・横浜市の事業である「ひとり暮らし高齢者見守り推進事業」を、民生委員・児童委員、金沢区との連携で行い対象となる住民の実態把握に努めました。

2 権利擁護

権利擁護

(関係機関との連携)

- ・個別の支援で関係制度利用の必要があると見立てた方には、金沢区役所、あんしんセンター、法テラスなどを通じて弁護士等の専門家と連携し対応しました。

【連携の具体的な動き】

- ・認知症が進行し財産の多くが詐欺的な勧誘により失われている独居女性のケースでは、親族同席のうえで訪問し状況を把握、早々に成年後見制度の利用が必要であることを確認し、第三者後見人をつけたいと要望から、神奈川県弁護士会所属の弁護士と調整し、親族申し立てを行えるよう調整しました。弁護士の助言を得ながら家裁手続き支援相談を継続しています。
- ・「地域ケア会議」の開催：知的障害のある長男と同居の高齢女性のケースで、支援者間での状況の共有を図り今後の方向性を検討。長男の保佐人からの情報提供をき

かけに、会議では現状の整理と把握を行い、会議後も母親の担当ケアマネジャーからの相談を継続して受けています。

- ・他のケースでも各々のケースの後見人や保佐人等と同行訪問や電話で生活状況の共有を図りました。(統合失調症の独居男性など2ケースを共有)
- ・区の障害支援担当や障害支援相談機関(基幹相談支援センター、金沢区生活支援センター等)と連携して制度利用の必要なケースに対応をしました。

(制度の普及と相談会の開催)

- ・1月に、小田コミュニティハウスで「成年後見制度」について出前講座を行います。
- ・3月に「シルバーライフ安心講座 全2回」を開催し「成年後見制度」の普及、啓発に努めます。
- ・いずれも終了後に相談会を行い、要援護者の掘り起こしにつなげたいと計画しています。

(消費者被害の防止)

- ・被害が心配されるケースには、防止のため消費生活センター作成のシールを配布し玄関先に貼ってもらう等の注意喚起をしました。また、要介護の方には担当のケアマネジャーにも呼びかけ対応しました。
- ・被害にあった方、あいかけた方の情報収集をし、記録をまとめ冊子にしています。活用方法は模索検討中ですが、継続して情報を整理しています。
- ・マイナンバー詐欺等の最新情報を、元気づくりステーションや健康づくり教室の参加者に話をして注意喚起をしています。
- ・次年度以降は、今年度エリア内に郵便局が移ってきたこともあるので、金融機関等とも協働してできることを探っていきたいと考えています。

高齢者虐待

(関係者と連携、他機関とのネットワークの構築)

【具体的なケース対応】

- ・孫からの暴力を受けた母親と祖母への対応
- ・祖母の通っていた老人保健施設(通所リハビリ)の生活相談員とケアマネジャーと連携を図り、緊急ショートステイを調整、母親との連絡方法については区と連携し調整、孫への対応では区・障害担当と高齢担当と通院同行をするなどし、祖母の安全確保のため親族宅への避難ができるよう調整連絡をしました。ミーティングの随時開催を区とともに行いました。その後も母親と連絡をとりながら現状把握をしています。

(虐待の理解と周知等による防止策)

- ・介護者のつどいを毎月16日に開催し、介護者どうしのつながりを持てる場を設けました。参加者間で同じ悩みを共有でき、気持ちにゆとりが持てるようにし、介護ストレスの軽減が図れるよう努めました。

認知症

(実態把握)

- ・地域包括支援センターの機能を活かし相談を受け、総合相談票で「相談が必要となった原因」を継続して集計し実態把握をしました。

(認知症の理解の普及・啓発)

- ・認知症サポーター養成講座の開催を地元商店会に呼びかけ実施しました。(10月)
- ・地域住民を対象とした講演会として、12月に近隣ケアプラザと共催で「認知症と老年性うつ」と題し、臨床心理士の講演を行いました。

(キャラバンメイトとの協働・後方支援)

- ・キャラバンメイト（エリア内に3名）に商店会総会を活用した認知症サポーター研修の講師を依頼し、10月に実施しました。
- ・認知症予防「コグニサイズ」を6月、9月、1月に実施しました。

(認知症初期集中支援チームとの連携)

- ・今年度、金沢区でも始まった認知症初期集中支援チームの会議には、主にケース担当者が出席し連携するよう努めました。
- ・サービスや医療の利用が滞っていたケースは、チームと同行訪問し、利用調整などを図りました。
- ・サービスにスムーズにつながるよう、ケアマネジャーへチームの動きと連動し引き継ぎました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・住み慣れた地域で安心して過ごして頂くために、ケアプラン作成時の目標をご本人と一緒に考え、具体的な達成感のある目標設定に努めました。
- ・予防プランに掲載されたサービスが問題なく実施されているかどうか、定期訪問時に利用票を配布しながら確認することで、顔の見える関係を構築し、信頼関係ができ、困った時にはすぐ連絡が入り、早期対応、重症化予防につながるよう努力しました。
- ・自宅近くで行っている体操教室、元気づくりステーション、サロンを紹介し、本人が主体的に取り組み、生きがいとして地域でのつながりができるよう努めました。
- ・包括支援センターの3職種と予防プランナーとでその都度疑問や持っている情報を出し合い、課題を共有し、ケアマネジメントの強化を図り、担当不在時でも対応できるように努めました。
- ・包括支援センターの3職種と介護予防プランナーとで、随時ケース相談を重ねました。気づきとしては、援助計画や課題を共有し、ケアマネジメントの強化を図るには、即応性だけでなく振り返りをし、今後のケース相談につながるスキルアップが大切と感じました。次年度は定期でケースを振り返り、スキルアップにつなげられるようにしたいと思います。
- ・月1回区の高齢者担当と包括の定例会には、生活支援コーディネーターが出席することで個別課題から地域課題を見定めるよう努めました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

(民生委員・児童委員とケアマネジャーとの連携推進)

- ・8月には富岡第三地区民児協とケアマネジャーと意見交換会を実施しました。総合事業についての説明を包括から行い、個別の支援の支援ポイント、支援介入のポイントについて、民生委員とケアマネジャーで話し合いをしました。
- ・3月に富岡第一地区民児協との意見交換会を、並木地域ケアプラザと共催する予定です。

(総合事業についての理解促進)

- ・5月に町内会老人会の勉強会で、7月にはボランティアグループ勉強会でそれぞれ「総合事業」についての説明会を実施しました。

(インフォーマルサービスの開発と情報収集)

- ・生活支援コーディネーターが中心となり、空き家の活用について持ち主の方と相談

のうえ、支援チーム内でも活用について話し、地域の活動拠点として実現できるよう調整をしてきました。

(地域のサービス一覧の作成)

- ・インフォーマルサービスとフォーマルサービスを一覧表としてまとめています。「5つのこと」(日常家事・安心・外出・交流・非日常のこと)を縦軸に、公的サービスと企業などの市場分野も含めた非公的サービスを横軸にした「一覧」として表を作成しています。

医療・介護の連携推進支援

(医療機関とケアマネジャーの意見交換)

- ・「金沢区薬剤師会とケアマネジャーとの意見交換会」を、医療と介護の連携推進を目的に、9月に開催しました。開催にあたっては、区内の全地域包括支援センターと薬剤師会役員と協働で企画し開催しました。今年度は特に薬剤師の出席が昨年の倍になるなど、薬局が在宅支援に向けて実際に動いていることが分かりました。事前アンケートから得たQ & Aの作成などを継続して検討する予定です。
- ・金沢区北部の地域包括支援センター協働で、在宅医療をテーマにした「在宅医療連絡会」を実施しました(6月)。訪問診療所医師、薬剤師、訪問看護ステーション等とケアマネジャーに呼びかけ参加していただき、服薬管理の在宅での課題について話し合いました。1月に第二回を開催し、次年度につなぎます。
- ・金沢区内外の病院医療ソーシャルワーカーと区内の全地域包括支援センターとの連絡会を開き、意見交換を行います(3月予定)。

(医師とケアマネジャーの相談会の開催)

- ・ケアプラザ協力医による「医師とケアマネジャーとの相談会」を継続して開催しました。所内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーからの相談のみにとどまっておらず、今後とも拡大できるよう周知をします。

ケアマネジャー支援

(随時の個別相談・支援困難ケース等の対応)

- ・随時、担当エリア内外のケアマネジャーから相談を受け、必要に応じ同行訪問をしました。対応は民生委員・児童委員や医療機関等に必要に応じて協力を仰ぎました。
- ・ケアマネジャーが適切な地域情報を得られるよう、支え合い連絡会作成の「富岡ささえあいマップ」等で情報提供をしました。
- ・地域での見守りが継続でき、対象者が地域で培った関係が途切れないよう、地域情報の提供等による支援をケアマネジャーに働きかけました。

(地域ケア会議のケース選定)

- ・ケアマネジャーの抱えるケースから選定し、ケアマネ支援につなげました。

(民生委員・児童委員とケアマネジャーの連携支援)

- ・民生委員・児童委員との意見交換会を8月と3月に実施しました。
- ・8月は、総合事業についての説明を包括支援センターから行い、個別支援のポイント、支援介入ポイントについて、民生委員とケアマネジャーで話し合いました。
- ・3月はエリアの重なる他ケアプラザと協働開催し、日常生活支援について意見交換しました。
- ・今後の介護予防には地域の力が欠かせないことの共有を図ることができたと思いません。

(金沢区北部エリア包括協働での支援)

- ・「ケアマネ・カフェ」を5月と11月に実施しました。気軽に話し、困りごとや悩みごとの相談ができる場として運営しました。
- ・事例検討会を9月と3月に実施しました。
- ・「金沢区北部在宅医療連絡会」を6月と1月に開催し、昨年の内容との総まとめとして「職種による在宅医療（介護）の捉え方の傾向について」をテーマにしました。

(金沢区の全地域包括支援センター協働での連携支援)

- ・薬剤師とケアマネジャーの意見交換会を9月に実施しました。薬剤師、ケアマネジャー、包括で連携し援助をした事例を元に話し合いをしました。
- ・区内勤務の新任ケアマネジャーを対象に「新任ケアマネ研修」を9月、11月に実施しました。2月に最終回を行い、新任ケアマネジャーのマネジメントのスキルアップを図りました。全体を通じ、自立支援の視点からインフォーマルサービスの活用をテーマにしました。
- ・主任ケアマネジャーが輪番で金沢ケアマネ倶楽部役員会に出席し連携しました。
- ・今年度の新たな事業として区内の居宅事業所に所属する主任介護支援専門員間の連携強化目的で「主任ケアマネジャー連絡会」を5月と10月に開催しました。主任介護支援専門員更新研修や、日頃の各事業所での主任ケアマネの役割について情報交換をしました。3月には主任ケアマネジャーを対象にスーパーバイズ研修を開催し次年度に繋ぎました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

(地域ケア会議の開催)

- ・地域ケア会議（包括レベル）：「金沢区北部在宅医療連絡会」として専門職間のネットワーク構築を目的に6月と1月に実施しました。医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャーなど多職種で「職種による在宅医療（介護）の捉え方の傾向」をテーマにグループワークをしました。
- ・地域ケア会議（個別）：「介護が必要な親と障害を抱えた子」及び「認知症・独居・見守り」が主テーマとなるケアマネジャー担当ケースを取り上げました。家族の他、ケアマネジャー、介護関係者、民生委員、後見保佐人など多職種で行いました。

介護予防事業

介護予防事業

(介護予防普及啓発)

- ・各町内会で行っている健康づくり教室や元気づくりステーションに参加し、健康講話と年1回の体力測定と結果返しで「自分の健康は自分で守る、自分でつくる」という意識醸成を図りました。また介護予防普及啓発事業のパンフレットを持参し、広く参加者を募り、顔の見える関係を継続し、終了後は自身の事やご近所の方の相談に応じました。
- ・栄養士による栄養講座、歯科衛生士による口腔ケアは地域への出張講座とし、より参加しやすい環境を整えました。
- ・地域の社会資源情報を生活支援コーディネーターとともに新しく作り替えました。
- ・地域のキャラバンメイト3名とともに、商店会の役員と銀行の窓口担当者に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。
- ・9月には4年目となる「とみおか健康フェア」を開催し、64名の参加を頂きました。午前中は体力測定、午後に笑いヨガを企画し、昼食にパンの販売を行い一日過ごせるよう運営企画しました。「疲れたが楽しかった、素晴らしい有難う、ケアプラザの講座に関心がなかったがこれからは自分に合ったものを見つけて参加してみたい」等の感想が寄せられました。
- ・今年度の介護予防啓発事業として、栄養・口腔講座の他に 今までなかった「尿失禁

- 予防講座」を2回、「コグニサイズ」3回を企画実施し、好評を得ました。
- ・今年度の試みとして、介護予防啓発事業開催で会場準備や片付けのボランティアを募集し、ご協力いただきました。終了後の反省会で改善点や来年度への希望も伺うことができ、次年度も継続して事業をとまに行いたいと思います。

(医療講座)

- ・医療講座では地域で開業している歯科医師に依頼し、「歯と口から考える介護予防」と題し29名の参加者がありました。”歯の健康は意識していたが、噛むこと噛む力の認識を新たにした”等の感想がありました。
- ・2月に「看取りと向き合う」と題した講演会を実施しました。住み慣れた自宅で安心して過ごすために これからの生き方を考える機会にさせていただきたく、実施しました。ケアプラザ近隣の在宅医療を行う先生に講演を依頼しました。

生活支援体制整備事業

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- ・「地域活動・サービスリスト」を作成するため、地域住民からの情報収集に努めました。実際に活動に参加し、地域住民に紹介できるよう一部体験もしました。
- ・地域住民からの情報をできるだけ得られるよう、住民とのつながりを強めるように努め、体操教室やサロンにできる限り参加しました。

圏域レベルの協議帯の設置・開催

- ・日常生活圏域の現状・課題を地域住民へ説明する中で参加者を募ってきました。
- ・協議体については、地区推進連絡会の機能を活用しました。地域の見守りなどの課題をグループワーク形式で地域住民と話し合いました。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

- ・人口統計等のデータをもとにグラフを作成し、人口ピラミッドや高齢化等のグラフを示して現状について説明しました。
- ・区役所・区社協と協力して、住民の方々へ説明して意見交換を行いました。このことも踏まえて協議体を設置して、日常生活圏域の目標、取組み事項が策定できるよう準備をしました。

具体的な取組事項への着手

- ・すでにある体操教室やサロンにできるだけ参加し、生活支援コーディネーターが配置されたことを説明するとともに、日常生活圏域の生活支援・介護予防の充実に努めました。
- ・「お元気フェスタ」の開催：地域活動交流コーディネーターと協働で、小学校体育館で体力測定を行いました。健康づくりを目的に、多世代の交流につながるよう企画段階から地区社会福祉協議会と協議し実施しました。
- ・担当エリア内にある“空き家”の活用について、所有者とお会いし、区の地域力推進担当と相談しながら、地域の拠点をつくれるよう計画中です。所内の他部門（包括、地域交流）と連携しながら、地域支援チーム内でも共有して進めています。
- ・金沢シニア連、友愛活動員研修会にて、金沢区内の生活支援コーディネーターとコーディネーターの仕事についてお伝えしました。富岡からは富岡西の高齢化率の高さや地域住民の取組みについて発表しました。
- ・「福祉保健のつどい」で、約10年前からのケアプラザと地域住民の健康づくりの取組みと、その結果として住民のつながりが強くなっている状況をお話ししました。

その他

- ・ 地域ケアプラザの大きな仕事は、ネットワークの構築にあると考えて業務に取り組んできました。地域包括ケアの実現に向けて、日々の活動を振り返り、地域課題を探り、具体的な取り組みができるか地域とともに考えるよう努めました。
- ・ 高齢化率の高い地域の状況や地域の社会資源を「マップ化」「見える化」して、地域福祉保健計画に沿って業務を遂行しました。
- ・ 地域特性を理解し、社会資源の開発等について地域住民とともに「支えあい連絡会」で考え、「地域ケア会議」を通して住民関係機関とネットワーク構築に努めました。
- ・ これらの実施にあたっては今年度から配置される生活支援コーディネーターと地域交流、地域包括支援センターが一体となり進めるよう努めました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:富岡地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	認知症対応型 通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	14701	23350	151						5789
	介護保険収入	0			5212	35703	86250	18527	9295	
	その他	2537	22		4202	12308	4405			
	介護予防ケアマネジメント費				4202					
	雑収入	455	1				27			
	その他の収入	21	21							
	事業収入						231			
	寄付金収入						60			
	受入研修費収入						109			
	サービス区分間繰入金収入	2061				9657				
	受取利息配当金収入									
	積立資金取崩収入						3978			
	要介護認定調査委託事業収入					744				
	委託事業収入					1907				
	収入合計(A)	17238	23372	151	9414	48011	118477			5789
支出	人件費	10494	18754			34597	71748			2918
	事務費	1184	1309			1357	3475			
	事業費	637	601	151		2	10109			284
	管理費	3892	987			4	9819			
	その他	1031	1721	0	9414	10130	22281			2587
	施設使用料相当額									
	消費税	839								
	介護予防プラン作成委託料				3708					
	利用者負担軽減額						90			
	ファイナンス・リース債務の返済支出					130	130			
	拠点区分間繰入金支出(本部へ)					10000	20000			
	サービス区分間繰入金支出		1364		5706		2061			2587
	戻入額	192	357							
	支出合計(B)	17238	23372	151	9414	46090	117432			5789
	収支(A)-(B)	0	0	0	0	1921	1045			0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市富岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
0～1歳講座	<p>(目的) 子どもが生まれての不安解消や友達作り、情報交換の場を行いました。また、0歳からケアプラザにきてもらい、長い期間を通じ顔の見える関係ができることを目的としました。</p> <p>(内容) 「ベビーマッサージ」2回、「ママのためのヨガ」2回、「リンパの流れのストレッチ」2回、「離乳食講座」、開催しました。この講座を行うことで、ケアプラザで行っている事業への参加、保護者との距離感を縮めることに努めました。</p>	5月、6月、7月、 8月、9月、10月 11月、1月 8回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歩ほえみくらぶ	<p>(目的) 就園前の(2～3歳時)の幼児の友達作りの場、保護者の情報交換の場づくりを行いました。</p> <p>(内容) 音楽レクリエーション、親子体操、リトミック、親子でお菓子作り、バレエ、お別れ会(ケーキ作り、卒業式)を行いました。いろいろな活動を通して子どもたちの成長の経験になるようにと考えて行いました。歩ほえみくらぶから次のいちごクラブへの参加の促しをする際に、ケアプラザとのつながり、ケアプラザを通して地域とのつながりづくりができたという思いを伝えました。</p>	毎月第4水曜日 10:30～11:30 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いちごクラブ	<p>(目的) 歩ほえみくらぶを卒業して、幼稚園に通う子を対象に行う。子育てのお母さんたちのつながりが、1～2年しかないことからつながりを持ちながら、地域の話などができるような関係づくり。</p> <p>(内容) 小さいころから遊びの中から体を動かすことの大事さを伝えるために体操教室を開催しました。人数も増えたこともあり、保護者の方へあらためていちごクラブはお母さんたちの繋がりを大事にしたいこと、ケアプラザに関わってほしいことなどを伝えました。</p>	毎月第1水曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お父さんといっしょにあそぼう	<p>(目的) 幼稚園児を対象に父親と子供と一緒に遊びを通じて体を動かすことの大事さを学んでもらいました。体操というツールを通して親子のつながりづくり、また、父親の社会参加、地域参加を目的としました。</p> <p>(内容) 鉄棒、跳び箱、ボール、マット、縄跳びなど、今の時期にやることの大事さを伝えながら親子体操を行いました。1回目には「父の会」を作りたいということに参加者へ伝え、5回目には「父の会」を作りお手伝いをしてほしいことを伝えました。5名のお父さんが賛同してくれました。29年度はどのように父の会をしていくかを考えていきたいと思えます。</p>	7、9、11 1、3月 計5回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3歳からの子育て講座	<p>(目的) 区役所のと共催事業。地域の中で、子育てに悩んでいる方などを対象にこども家庭支援課の保健師さんが養育者の方に声掛けをして気持ちが軽くなることを目的としました。</p> <p>(内容) 心理カウンセラーの前之園由紀子氏を講師に子育てについての話を行ってもらいました。全3回。2回は講座。3回目はフォローアップ講座。</p>	11月10日 11月25日 1月31日 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どものセンスを磨くコツ	<p>(目的) 子どもの運動能力の低下が言われています。子どもの運動、身体について養育者に伝えていくために行いました。</p> <p>(内容) 子どもの成長と身体的特性についての講座を行いました。</p>	9月3日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でチャレンジ	<p>(目的) 母親が働いている家庭が多いので、なかなか子供と一緒に何かをする機会がないので、一緒にお菓子を作りながら親子の時間を楽しみました。小学生との関わりをもつための事業としました。</p> <p>(内容) まほうのケーキ、クッキー、ピザ、ハロウィン、クリスマスケーキ、キッシュとミルクレープ作りを行いました。この事業を通して、27年度に立ち上がった「栃のみ会」というボランティアグループに講師を依頼し行ってもらいました。このことから、「栃のみ会」のメンバーとの関係ができて「けあぷら広場」のカレー作り、「ひなたぼっこ」のお菓子作りの講師などもお願いすることができました。</p>	4月、6月、8月 10月、12月、2月 第4日曜日 計6回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
けあぷら広場	<p>(目的) エリアの中に小学生の居場所がないことからケアプラザを開放</p> <p>(内容) 毎週火・金曜日の放課後の時間を開放、夏休みは火曜～金曜の12時から解放しました。また、夏休み、冬休み、春休みにはカレー昼食会を開催しました。カレーを食べることで、ボランティアさんとの関係づくりなどができたらと考えて開催しました。まだまだ周知が足りないのか参加者が少ないことは課題なので、次年度は昼食会は小学生だけにしないで高齢者の方も交えて行うことも考えています。部屋の開放に関しては利用する子どもたちが少ないことから周知をしっかりと行っていきます。</p>	毎週火・金曜日 夏休み火曜～金曜 112回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
苦手克服教室	<p>(目的) 子どもの運動能力の低下が言われて中、養育者が運動を教える難しさから苦手な運動を克服する教室を行いました。</p> <p>(内容) 富岡第一地区民生委員児童委員さんの協力のもと小田小学校の体育館で跳び箱、マット運動をおこないました。</p>	10月29日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひなたぼっこ	<p>(目的) 小学生の障がい児余暇支援として放課後に立ち寄れる居場所作りを行いました。地域のボランティアに参加をしてもらうことで、顔の見える関係づくりに努めました。</p> <p>(内容) 15:00~16:00 体操か工作のどちらか 16:00~16:30 おやつ作り 16:30~17:00 おやつタイム</p> <p>体操、工作はどちらもボランティアさんに組み立てから当日のことまで行ってもらい、お菓子作りは「栃のみ会」が行っていただきました。どちらも地域のボランティアさんが5名くらい入ってもらい子どもたちと関わっていただきました。外であった時でも子どもたちから声がかかるようになったようでした。</p>	毎月第3水曜日 15:00~17:00 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぼっかぼか	<p>(目的) 中学生の障がい児余暇支援。小学生の障がい児余暇支援「ひなたぼっこ」を卒業した児童に対してつながりづくりを行いました。</p> <p>(内容) 買い物に行き、材料をボランティアさんと購入し、ハンバーガー作り、昼食、午後からはさわやかスポーツを行い、芳香剤づくり、おやつにパフェを作りました。年2回計画を立てていましたが、3月に考えていましたが、忙しさを理由に2回目ができませんでした。早い段階から企画をするように努力したいと思いました。つながりを大事に考えているものなので、継続していく努力をしたいと思います。</p>	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーフレンド	<p>(目的) 夏休みの障がい児の余暇支援、夏休みの場の提供。</p> <p>(内容) 金沢八景ボールへ電車で行き、外食をし、ケアプラザに戻りゲーム、パフェ作りを行いました。ひなたぼっこの参加者がほぼだったので、ひなたぼっこの外出編のようでした。</p>	8月 計1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手作りクッキー でクリスマス会	<p>(目的) 障がいのある子どもたちの居場所づくり 地域のボランティアとの交流により、顔のつながれる関係 づくりを行ないました。</p> <p>(内容) ケアプラザ利用団体で男性料理をしている方たち に障がいをもっている子どもたちにクッキー作りを教えて もらい、参加者と交流をもってもらいました。地域の人た ちに障がいのある子どもたちの理解をしてもらうように行 いました。</p>	12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡リハビリ 教室	<p>(目的) 中途障がいの方を中心にリハビリ教室の必要な方 への体操へ誘い、健康維持を図る。</p> <p>(内容) 金沢スポーツクラブと共催、金沢スポーツクラブ 講師の指導によるリハビリ体操の実施。ケアプラザは会場 準備、参加者募集を行ないました。</p>	第2水曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わくわく体操	<p>(目的) 65歳以上の方を対象に、運動啓発や転倒防止、 交流の場。</p> <p>(内容) 金沢スポーツクラブと共催。ケアプラザは準備な ど。講師は金沢スポーツクラブより派遣、座ってできる体 操など参加者に合わせた体操を行ないました。</p>	第4金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声広場	<p>(目的) 全員で楽しくうたう。運動は嫌いだが、歌ならう たうという方などに閉じこもり予防。</p> <p>(内容) 講師の歌から始まり、全員でいろいろなジャンルの 曲にチャレンジしながら楽しく歌を歌いました。男性の 参加者も増えてきました。毎回40～50名の参加があり、古 い歌が良い人のための教室を開催したほうがよいのではと いうことから、29年度に増やすことにしました。</p>	4月～3月 毎月第1金曜日 計12回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リンパの流れのストレッチ	<p>(目的) 高齢者対象、健康づくりの場、広い年齢層の参加を促した情報交換、交流の場。</p> <p>(内容) 8回開催。講師によるリンパのストレッチとマッサージの講座を開催しました。リンパには興味がある方も多く、8回の講座だったが、サークルも立ち上がりました。いろいろな運動の教室があることで、参加者の顔ぶれが違ってくるようになりました。</p>	9月～12月 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアパワー	<p>(目的) 27年度からモデル事業として、小学校の花壇を3年生と地域のシニアが交流を行いながら、花を咲かせるという活動。</p> <p>(内容) 地域の方々を花壇隊とし、3年生と花壇を一緒に رفتったり、交流をもったりと月に1回の活動を行いました。</p>	毎月1回 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
せせらぎサロン	<p>(目的) 身近な場所での交流の場、一人暮らしの見守りの場。</p> <p>(内容) ゲストによる演奏、マジシャンなどの催しものを行い、ボランティアさんにせせらぎサロンを行っていただきました。今年は参加者が100名くらい減少しているの、次年度に向けて周知を行っていくことと新しいゲストを発掘していく努力をしていきます。</p>	毎月第1・3木曜日 13:30～15:00 計19回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミハ・ケアプラザ祭	<p>(目的) 富岡コミュニティーハウスと共催。施設利用団体や地域の方々の協力のもと、ケアプラザを拠点に、交流の場とケアプラザの周知を行いました。</p> <p>(内容) 小学校の和太鼓部、コーラス部の演奏、フリーマーケット、カレー、焼きそばなどの販売、ゲーム、アンパンマンショー、お菓子のつかみ取りを行いました。親子世代にたくさん来てほしいとの思いから、外ではパントマイムのショーやバルーンアート、ゲームコーナーを毎年50円とっていましたが10円にするという工夫をしました。結果、子どもたちの声であふれていました。</p>	10月 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
チャレンジ・フェスティバル	<p>(目的) 保健活動推進員と共催。メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームにならないように、若いときからの運動啓発と交流の場。</p> <p>(内容) 富岡小学校の体育館で開催しました。速度歩行、骨密度測定、血管年齢、体組成、ロコモチェックを行い、子どもには遊ぶスペースを作りました。大学、企業と連携をし、1人500円をとり、お金を払っても測定したいかということを検証しました。結果、毎年行っている無料の体力測定には、参加する人は少なかったが、お金を払っても測定はしたいということがわかりました。あとは、親子で参加しても楽しく、親が測定していても安全に遊べる空間を設けることを考えたいと思いました。</p>	2月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
女性の健康エアロビクス	<p>(目的) 女性の健康づくりの場、広い年齢層の参加を促した。</p> <p>女性同士の情報交換、交流の場。</p> <p>(内容) 金沢スポーツクラブと共催。ケアプラザは準備など。講師は金沢スポーツクラブより派遣、エアロビクスを行ないました。</p>	毎月第1・3月曜日 10:00~11:30 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会	<p>(目的) 1回は並木ケアプラザと第一地区社会福祉協議会と金沢病院と共催事業。地域の方に広く病気の講演会をすることで、健康に対する予防などに役立ててもらいました。</p> <p>(内容) 7月ケアプラザにて「ほっておくと怖い高血圧」・10月第一地区会館にて「ほっておくと怖い高血圧」を開催しました。</p>	7月11月頃 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガイドボランティア講座	<p>(目的) 障がい児者の移動に関する困りごとについての理解を深め、障がい児、者の外出する際の付き添いボランティアを養成する。</p> <p>(内容) ガイドボランティアの必要性、活動紹介 養護学校下校時の見学、障がい疑似体験</p>	1、2月 3回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ナイトヨガ	<p>(目的) 夜間の時間帯の貸館利用率を上げること、また日中仕事をしていて運動が出来ない人のために開催しました。</p> <p>(内容) ヨガを行いました。20～80代の方が参加しています。この中から、40代～50代の方も多く参加しています。</p>	毎月第2・4月曜日 10回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
学校と施設の連絡会	<p>(目的) 担当エリア内、周辺の施設、教育機関の担当者との情報交換の場としました。</p> <p>(内容) 学校と施設の情報交換会。能見台地域ケアプラザで開催。お題を2つ用意し、話し合いたいほうへ参加をしてもらいました。①最近の子どもの様子・②福祉体験、ボランティア活動。年に1回の開催なので、結論が何かだせるわけではないが、交流の場としてはよい機会となっていると思いました。</p>	6月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
利用者懇談会	<p>29年度からのケアプラザの利用方法が変更になることから、説明会として行いました。</p>	12月 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	<p>(目的) 日頃ケアプラザ内でのボランティア活動をしてくださっている方への感謝の会を行いました。</p> <p>(内容) 今年度は「ボランティア交流会」の事業名を「ボランティア感謝会」に変えて行いました。</p> <p>交流会から感謝会に変更した理由は、毎年、演奏を聞きながらの茶話会なので、交流をしているということでもないことから変更。今年は、スーパーのお惣菜を購入してお弁当を提供しました。ボランティアさんには大変喜ばれました。やはり、ケーキや和菓子よりも食事のほうが喜ばれるのだということ was わかりました。</p>	3月に1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お元気フェスタ	<p>(目的) 地域住民に運動啓発を行うとともに、子どもから高齢者までが顔を合わせる場づくりとして、各種の運動を行うことを主体としたフェスティバルを行いました。</p> <p>(内容) 第一地区社会福祉協議会と共催、横浜市体育協会の協力のもと、小田小学校の体育館で体力測定、リズムトレーニング、さわやかスポーツ、簡単な運動紹介などを行いました。</p>	2月12日 1回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン交流会	<p>(目的) 第一地区は地区社協で1ヶ所、第三地区では5つの町内会でサロンを立ち上げ、町内会住民が運営している。 交流と情報交換の場。</p>	開催できませんでした。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座	<p>(目的) 担い手探しと育成 (内容) サロンの担い手減少に伴い、お手伝いいただける方を育成します。</p> <p>*サロンの担い手減少ということだったので、講座を開催せず、個別にあたり人数増加に努めました。</p>	開催できませんでした。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西ハイツサロン	<p>(目的) 地域ケアプラザと同一敷地内にある市営住宅（西ハイツ）の住民を中心に、住民同士のつながりができる場づくり。</p> <p>(内容) 住民どうしでおしゃべりができ、顔が見え、安心できる場を、生活相談室で開催。出入り自由でお茶とお菓子を用意する。ケアプラザ職員と民生委員で運営した。</p>	毎月第2木曜日 12回開催

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	(目的)介護者同士が交流、情報交換をし、精神的負担を軽減し、無理なく介護を続けることができるよう支援する。 (内容)日頃の介護の悩みを自由に話せるよう雰囲気づくりをし、認知症の家族のこと、施設への入居、近所に出来る小規模多機能型居宅介護施設や利用について相談などにもつながった。	毎月16日 8回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバー安心講座	(目的)老後の安心した生活を送るために必要な知識、啓発を図る。 (内容)外部講師による「高齢者のための住まいの選び方」「悪徳商法の手口」「就活について」の講座を実施した。	3月4日、18日、31日 計3回開催

	目的・内容	実施時期・回数
スマイルとみおかの会・スマイルみどりの会	(目的)認知症の理解が出来、楽しい刺激で脳を元気に活性化させ認知症を予防する。認知症ポスター・ボランティアの実践力を磨ける場づくり。 (内容)認知症予防ゲーム・スリーAの標語でもある「あかるく、あたまを使って、あきらめない」をモットーに簡単な手遊びなどのゲームを通して実践する。誰もが大きな声で笑い合い、心が自然と癒され脳を活性化させるよう実施しました。	毎月第4月曜日 ・第2金曜日 計24回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とみおか健康フェア	(目的)地域の誰もが参加出来、健康づくりのPR、健康づくりの地域での醸成を目的として開催し、健康寿命の延長を図る。 (内容)リズム体操・体力測定(身長・体重・握力・足趾力・ロコモック、片足立ち等)・笑いヨガ 昼時間にはパン販売ブースを設け、昼食をともにし親睦を図りました。	9月30日 計1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり教室	<p>(目的) 高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、具体的な取り組みを始めるきっかけを提供し、介護予防活動を実践出来る高齢者が増えることを目指す。</p> <p>(内容) 健康講話・体操・レクリエーション・笑いヨガ・ウォーキング当を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東芝杉田コーポ 毎月第3月曜：12回 ・西富岡 毎月第2水曜：12回 ・富岡北部 毎月第4木曜：11回 ・桜ヶ丘 毎月第2・4水曜：24回 ・富岡元気づくり 毎月第2・4木曜：22回 ・小田元気づくり 毎月第2曜：11回 ・元気づくりウォーキング 毎月第1曜：9回 ・笑いヨガ 毎月第1金曜：12回 <p style="text-align: right;">毎</p>

事業名	目的・内容等	
介護予防啓発事業	<p>(目的) 介護予防に向けた実践的な講座を開き介護予防の大切さを地域住民に知っていただく。</p> <p>(内容) 歯科衛生士による口腔ケア講座、管理栄養士による栄養講座、尿失禁予防講座、コグニサイズってな～にと題しての啓発を行いました。コグニサイズは29年度から月1回で教室が立ち上がりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 口腔講座10月：2回 栄養講座7, 8月：2回 尿失禁予防講座7, 12月：2回 コグニサイズ6, 11, 1月：3回

	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会	<p>(目的) 地域住民、福祉保健関係者に健康についてや介護予防の知識の普及啓発を図る。</p> <p>(内容) ①歯科医師による歯と口から考える介護予防についての講演。②在宅診療支援診療所医師による最後の日まで安心して家で暮らすための心構えについての講演を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 7月：1回 ② 2月：1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山椒の会	<p>(目的) 参加者自らがメニューを考え、買物、調理、会計を役割分担しながら協力して作業を行い楽しく会食し、認知症の予防を図る。</p> <p>(内容) はまちゃん体操、メニューの確認、調理、会食し次回のメニューを考え買物の係を決める等実施しました。</p>	<p>毎月第3水曜日：11回</p>

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
0～1歳児講座	0～1歳児と保護者	45,416	37,816	7,600	44,544	872	0
	188人						
	1回100円						
歩ほえみくらぶ	2～3歳児と保護者	37,056	20,256	16,800	30,027	7,027	0
	468人						
	1回100円						
いちごクラブ	幼稚園児	22,400	0	22,400	0	0	22,400
	547人						
	1回100円						
お父さんと一緒に遊ぼう	3～6歳児と父親	2,400	0	2,400	0	0	2,400
	75人						
	1回100円						
3歳からの子育て講座	区が募集	0	0	0	0	0	0
	63人						
	0円						
子どものセンスを磨くコツ	15歳までのお子さんをお持ちの保護者	0	0	0	0	0	0
	16人						
	0円						
親子でチャレンジ	小学生と保護者	41,536	2,336	39,200	0	41,536	0
	149人						
	1回700円						
けあぷら広場	小学生	19,119	2,519	16,600	0	19,119	0
	196人						
	0円						
苦手克服教室	小学生	5,568	5,568	0	5,568	0	0
	36人						
	0円						
ひなたぼっこ	個別級に通う小学生	14,953	5,953	9,000	0	14,953	0
	208人						
	1回100円						
ぽっかぽか	個別級に通う中学生	4,610	1,610	3,000	0	4,610	0
	6人						
	1,000円						
サマーフレンド	障がいのある小学生	17,095	9,595	7,500	0	851	16,244
	18人						
	1,000円						
手作りクッキーでクリスマス会	個別級に通う小学生	10,259	1,259	9,000	0	10,259	0
	23人						
	1,000円						
富岡リハビリ教室	中途障がいの方	0	0	0	0	0	0
	283人						
	0円						

平成28年度 自主事業収支報告書

わくわく体操	高齢者						
	141人	0	0	0	0	0	0
	0円						
歌声広場	高齢者						
	448人	62,025	18,325	43,700	62,025	0	0
	1回100円						
リンパを流すストレッチ	高齢者						
	134人	44,544	29,844	14,700	44,544	0	0
	300円						
シニアパワー	高齢者						
	25人	2,700	0	2,700	0	2,573	127
	100円						
せせらぎサロン	地域の方						
	644人	44,540	0	44,540	0	41,856	2,684
	0円						
コミハ・ケアプラ祭	地域の方						
	420人	117,752	10,582	107,170	0	0	117,752
	0円						
チャレンジフェスティバル	地域の方						
	90人	24,000	0	24,000	0	0	2,400
	500円						
女性のためのエアロビクス	地域の方						
	443人	0	0	0	0	0	0
	0円						
医療講演会	地域の方						
		0	0	0	0	0	0
	0円						
ガイドボランティア講座	地域の方						
	57人	2,026	2,026	0	0	0	2,026
	0円						
ナイトヨガ	地域の方						
	244人	70,200	0	70,200	63,612	0	6,588
	1回300円						
学校と施設の連絡会	学校と施設						
	22人	0	0	0	0	0	0
	0円						
利用者説明会	貸館団体						
	47人	0	0	0	0	0	0
	0円						
ボランティア感謝会	ボランティアをしている方						
	38人	18,255	18,255	0	0	18,255	0
	0円						
お元気フェスタ	地域の方						
	67人	22,249	22,249	0	20,000	0	2,249
	0円						

平成28年度 自主事業収支報告書

西ハイツサロン	地域の方	4,051	0	5,300	0	0	4,051
	53名						
	100円						
介護者のつどい	地域の方	681	0	0	0	0	681
	31名						
	無料						
シルバーライフ安心講座	地域の方	11,137	0	0	10,000	0	1,137
	41人						
	無料						
		644,572	188,193	445,810	280,320	161,911	180,739

事業ごとに別紙に記載してください。